

2018年12月期 決算説明会  
**AMITA3.0**

---

2019年2月26日  
アマタホールディングス株式会社  
(東証JASDAQ:2195)



## 2018年12月期 決算説明

アマタホールディングス株式会社  
取締役 清水 太郎



## 2019年 重点取り組み

アマタホールディングス株式会社  
専務取締役 佐藤 博之  
アマタ株式会社 代表取締役



## AMITA3.0

～サーキュラー・エコノミーの実現～

アマタホールディングス株式会社  
代表取締役 熊野 英介



# 2018年12月期 決算説明

アマタホールディングス株式会社  
取締役 清水 太郎

# 決算ハイライト (期初予想比較)

(単位：百万円)

|                     | 期初予想  | 2018年<br>12月期 | 期初予想差 |
|---------------------|-------|---------------|-------|
| 売上高                 | 4,961 | <b>4,704</b>  | △257  |
| 営業利益                | 130   | <b>136</b>    | 5     |
| 経常利益                | 109   | <b>140</b>    | 30    |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 70    | <b>24</b>     | △46   |

- 売上高は北九州製造所の取扱量が好調に推移したが、リサイクルオペレーション取引等の減少により期初予想を下回る
- 営業利益は100%リサイクルサービスの製造原価削減が進み、期初予想通り
- 経常利益は為替差損の影響はあったが、営業利益の増加や受取保険金計上により、期初予想を上回る
- 当期純利益は固定資産除却損計上および税金費用増加により期初予想を下回る

# 決算ハイライト (前期比較)

(単位：百万円)

|                     | 2017年<br>12月期 | 2018年<br>12月期 | 増減  |
|---------------------|---------------|---------------|-----|
| 売上高                 | 4,803         | <b>4,704</b>  | △99 |
| 営業利益                | 80            | <b>136</b>    | 56  |
| 経常利益                | 114           | <b>140</b>    | 26  |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | △337          | <b>24</b>     | 361 |

- 営業利益は100%リサイクルサービスの製造原価削減が進み、前期を上回る
- 経常利益は為替差損の影響はあったが、営業利益の増加や受取保険金計上により、前期を上回る
- 当期純利益は固定資産除却損計上、税金費用増加はあったが、経常利益の増加により、前期を上回る

# 貸借対照表 (前期末比較)

(単位：百万円)

|                |       | 2017年<br>12月末 | 2018年<br>12月末 | 増減   |
|----------------|-------|---------------|---------------|------|
|                | 流動資産  | 1,826         | <b>1,602</b>  | △223 |
|                | 固定資産  | 1,975         | <b>2,062</b>  | 86   |
| <b>資産合計</b>    |       | <b>3,802</b>  | <b>3,665</b>  | △137 |
|                | 流動負債  | 1,816         | <b>1,698</b>  | △118 |
|                | 固定負債  | 1,771         | <b>1,700</b>  | △71  |
| 負債合計           |       | 3,587         | <b>3,398</b>  | △189 |
|                | 資本金   | 474           | <b>474</b>    | -    |
|                | 資本剰余金 | 244           | <b>244</b>    | -    |
|                | 利益剰余金 | △479          | <b>△455</b>   | 24   |
|                | 自己株式  | △0            | <b>△0</b>     | △0   |
| 株主資本合計         |       | 240           | <b>264</b>    | 24   |
| その他の包括利益累計額合計  |       | △25           | <b>2</b>      | 28   |
| <b>純資産合計</b>   |       | <b>214</b>    | <b>267</b>    | 52   |
| <b>負債純資産合計</b> |       | <b>3,802</b>  | <b>3,665</b>  | △137 |

# キャッシュ・フロー計算書 (前期比較)

(単位：百万円)

|                      | 2017年<br>12月期 | 2018年<br>12月期 | 増減   |
|----------------------|---------------|---------------|------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 165           | 288           | 123  |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △79           | △79           | △0   |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △40           | △159          | △119 |
| 現金及び現金同等物<br>の増減額    | 42            | 44            | 2    |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高   | 622           | 667           | 44   |

## 継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在している

- 当期純利益を計上したものの、過去3期連続当期純損失を計上している
- 純資産が大幅に減少している
- 当期及び過去3期いずれも営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローは黒字
- 今後の主要取引銀行等の支援体制も確保できている



## 収益力の回復と経営基盤の強化に向けた施策を推進

- ・ 2018年 営業利益率 : 2.9% (2017年 1.7%)
- ・ 2018年 自己資本比率 : 7.3% (2017年 5.6%)



# 中期3力年計画 (2019 – 2021)

(単位：百万円)

|                 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-----------------|-------|-------|-------|
| 売上高             | 5,052 | 5,346 | 5,738 |
| 営業利益            | 188   | 296   | 383   |
| 経常利益            | 199   | 316   | 419   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 109   | 275   | 368   |

- 新サービス「AMITA Smart Eco」を中核とした企業向け統合サービス「The Sustainable Stage」の提供拡大
- 100%リサイクルサービスの拡充  
(シリコンスラリー廃液リサイクルの拡大・原価低減や製造効率向上 等)
- 環境認証サービスの拡大
- 海外事業の収益増強



## 2019年 重点取り組み

アマタホールディングス株式会社  
専務取締役 佐藤 博之  
アマタ株式会社 代表取締役

2018  
総括

## 期初予想は未達成だが、 事業基盤の整備が進み、回復基調

- 新サービス「AMITA Smart Eco」の提供開始
  - 高収益な環境認証サービスの受注数増加
  - 北九州製造所におけるシリコンスラリー廃液の100%リサイクルの開始
  - 地域デザイン事業「BIOシステム」の進化
- 
- 姫路製造所での小火による破砕設備の損傷とシリコンスラリー廃液のリサイクル設備の修繕
  - 台湾事業の計画未達



# 2018年 事業進捗状況

|                        | 取り組み項目                         | 状況   |
|------------------------|--------------------------------|--|
| <b>企業向け支援</b>          |                                |  |
| 環境戦略<br>デザイン事業<br>(国内) | 地上資源<br>(リサイクル・<br>環境コンサルティング) | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーション取引は減少したものの国内リサイクルは前年度並みに推移</li> <li>・北九州製造所でシリコンスラリー廃液の100%リサイクルが開始</li> <li>・環境業務の効率化支援サービス「AMITA Smart Eco」の提供開始</li> <li>・Smartマネジメント (e-廃棄物管理) の受注件数は順調に増加</li> </ul> |
|                        | 環境ソリューション<br>(環境認証、調査・研究)      | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産認証を中心に環境認証サービスの受注数が増加 (MSC CoC : 昨対比148%、ASC CoC : 昨対比213%)</li> <li>・世界初の海藻類ASC-MSC認証審査の実施</li> </ul>   |
| 環境戦略<br>デザイン事業<br>(海外) | 台湾                             | △ <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画は未達となったものの事業再構築は進んだ</li> <li>・新たな業界でのリサイクル市場を開拓を実施</li> </ul>  |
|                        | マレーシア                          | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・セメント代替原料製造における乾燥設備導入により製造量が拡大 (昨対比171%)</li> <li>・セメント代替燃料製造の事業化に向けた環境省事業を受託</li> </ul>  |
| <b>地域向け支援</b>          |                                |  |
| 地域デザイン<br>事業           | BIOシステムの構築                     | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県南三陸町にて資源循環の促進・コミュニティ活性化に資する実証実験を実施、高評価を得る</li> </ul>  |

TOPICS.1

# 「AMITA Smart Eco」の 市場形成

アマタ スマートエコ

サービス概要動画をご覧ください。

<https://youtu.be/yoAyyzhC-bg>



ICT機能とアウトソーシング機能で  
工場・物流拠点等における環境管理業務のコストを  
最大約5割削減する統合支援サービスです。

\*当社試算



1

管理コスト  
最大約5割削減

2

リスク低減・  
法令順守

3

業務効率化・  
業務品質向上

4

データ活用・  
最適マネジメント

5

働き方改革・  
業務負荷低減

センサーで廃棄物置き場の保管量を自動計測し、置き場の見回り、配車手配業務を効率化します。



様々な荷姿でも対応可能!



担当者はPCで保管量をリアルタイムで確認可能に

※本機能の利用は携帯電話の電波が届く場所に限られます。



貴社の環境情報を、画像・音声・テキスト等で素早く関係者に共有できるかんたん便利なエコアプリです。

①アプリ入のスマートフォンを持って構内パトロールへ！

②チェックポイントを撮影！  
簡単操作で報告アップ！

③必要な相手に即時共有！  
報告時間と巡回回数を削減！



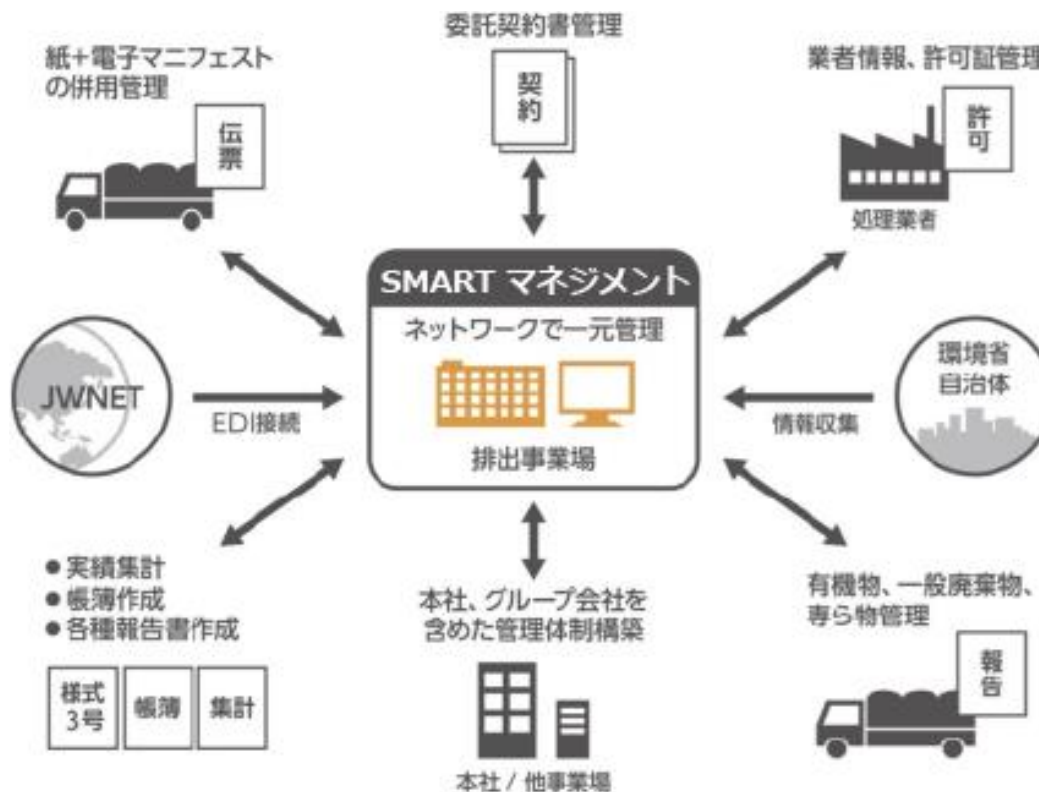
入力データはPCサイトに  
リアルタイム反映！





# Smart マネジメント (e-廃棄物管理)

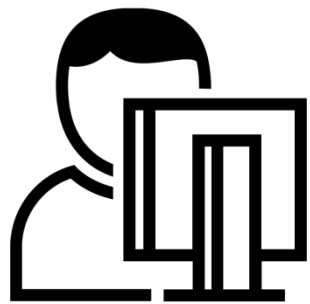
紙・電子マニフェスト、許可証、処理委託契約書等の  
 帳票・文書類を、Web上で一元管理できる**クラウドサービス**です。  
 マスター登録時に専門スタッフが法定記載事項をくまなくチェック！



廃棄物処理委託先の適正処理の状況を、定期的に確認する現地確認。  
実際に担当者が現地に足を運ぶのではなく、  
**ビデオ通話システム**を使用して、遠隔で委託先の確認を行うことが可能！

社内のPC画面から現地確認

iPadで相手と会話しながら

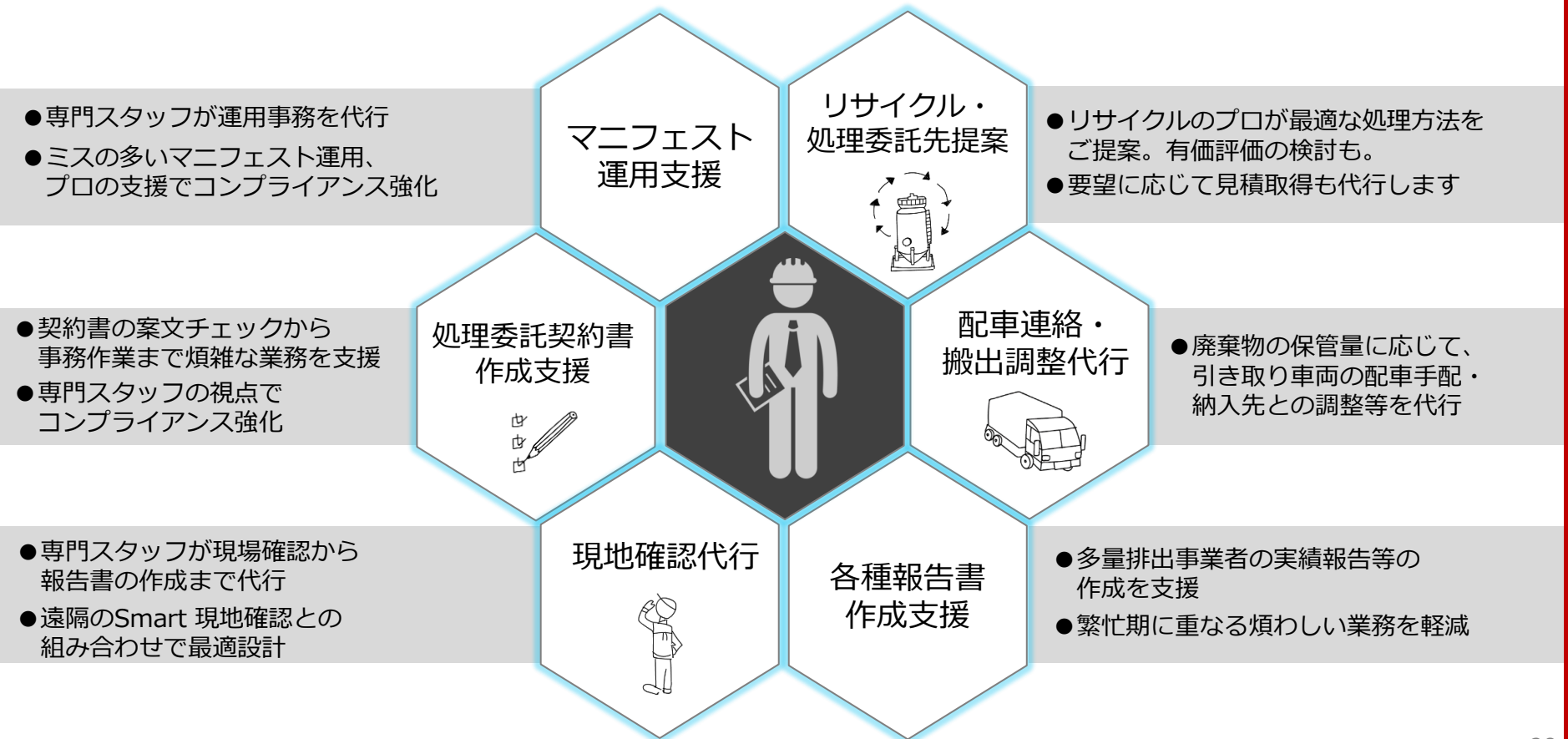


排出事業者の  
担当者

※本機能の利用はインターネットの接続が可能な場所に限られます。

処理委託先の  
担当者

ICTでカバーできない専門業務や判断業務は、  
環境・廃棄物管理業務の**専門性・現場力・ネットワーク**を有する  
スタッフが迅速・丁寧に代行します。



## 現場から経営まで、幅広い効果！

# 便利

経営者  
(経営企画部)



- 働き方改革の実践
- ESG経営、SDGsの実践
- 経営判断に有効な情報の吸い上げ
- 経営リスクの低減

現場管理者  
(環境責任者)



- 大幅コスト削減
- ヒューマンエラーの削減
- ワークフローの標準化、非属人化
- コンプライアンスレベルの向上

本社責任者  
(環境・CSR部)



- データの可視化、共有化・活用促進
- 廃棄物情報の本社一括管理
- 最適なマネジメント設計
- 環境リスク・コストの大幅削減

現場担当者  
(環境・安全管理部)



- 管理業務の大幅効率化
- 業務品質の向上
- 屋外作業量の削減、業務負荷の低減
- トラブルの早期発見、早期対処

# 効率化

# 「The Sustainable Stage」における位置づけ

## Drama Stage

企業価値支援  
(経営企画部門等)

## Strategy Stage

環境戦略支援  
(環境・CSR部門等)

## Solution Stage

環境ソリューション支援  
(環境・製造部門等)

## Operation Stage

環境オペレーション支援  
(環境・製造部門等)

- サステナブル戦略立案
- ESG経営の提案
- 働き方改革 等

データ活用による  
仕組み構築支援

AMITA

Smart  
Eco

データ活用による  
資源循環の促進

- リサイクルの促進
- サステナブル調達強化
- 物流効率化 等

企業の持続的成長を支援する統合サービス  
「The Sustainable Stage」の中核を担う

サステナブルステージ

# 2019年取り組み

## 既存顧客への提供拡大

100%リサイクル、Smartマネジメント（e-廃棄物管理）の  
既存顧客を中心に営業深耕

- ・マーケティングオートメーションの活用
- ・サービス体験型セミナーの実施

## 機能の開発・改善

顧客ニーズを反映し、新機能の開発および  
既存機能の継続的な改善の実施

- ・1月、工場巡回効率化支援「Smart パトロール」提供開始
- ・4月、契約書作成の効率化支援「Smart 契約書作成」リリース予定

2019年

受注目標

100件以上

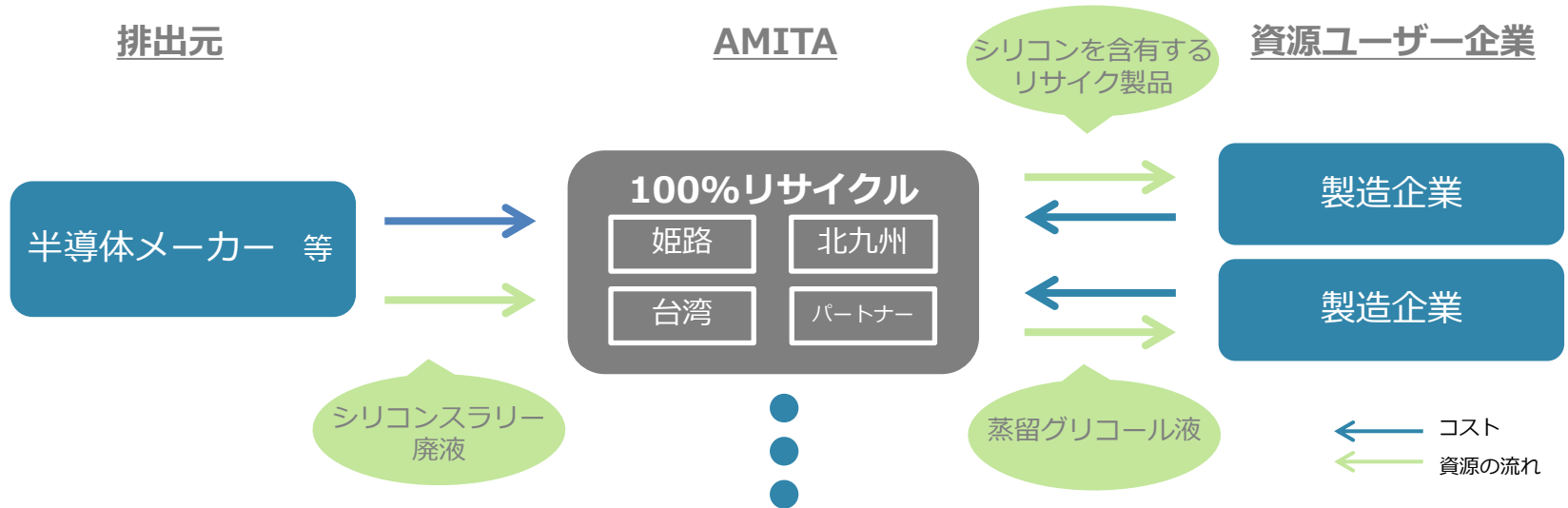
## TOPICS. 2

# シリコンスラリー廃液の 100%リサイクルサービスの拡充



# シリコンスラリー廃液の 100%リサイクルサービスの拡充

成長著しい半導体業界を睨んだリサイクル  
再資源処理が困難なシリコンスラリー廃液の資源化を進める



2018年11月

北九州製造所に  
新たな設備を導入し、  
100%リサイクル開始！



## TOPICS.3

# サステナブル調達を叶える 環境認証サービスの拡大

# サステナブル調達を叶える 環境認証サービスの拡大

| 当社実績     |         | 2016 | 2017 | 2018 |
|----------|---------|------|------|------|
| 森林<br>認証 | FSC®FM  | 23   | 23   | 24   |
|          | FSC®CoC | 244  | 314  | 354  |
|          | FSC®PJ  | 11   | 15   | 22   |
| 水産<br>認証 | MSC CoC | 54   | 63   | 93   |
|          | ASC CoC | 20   | 23   | 49   |
|          | ASC養殖場  | 1    | 2    | 4    |

- 世界初の海藻類のASC-MSC認証審査を実施
- 2019年3月「スズキ・タイ・オオニベ基準」のASC養殖場認証の審査の受付開始

2019年

高まるサステナブル調達へのニーズを見込み、  
審査員の早期育成・外部審査員の確保に注力

TOPICS.4

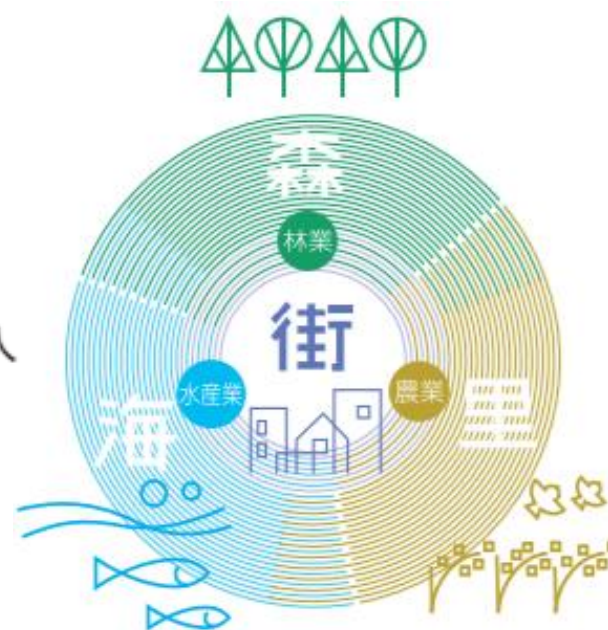
# BIOシステムの進化 ～ 「MEGURU STATION」 ～ めぐるステーション

# 地域の持続性を高める統合支援サービス 「BIOシステム」



各産業や人のつながりが断絶した地域

BIOシステムを導入



各産業がつながりあい  
好循環を生む持続可能な地域へ

## 2021年のビジネスモデル確立に向けて 宮城県南三陸町を中心に事業開発中

# 「MEGURU STATION」 実証実験概要



## 目的

資源循環の促進

コミュニティ活性化

|        |  |     |                                 |
|--------|--|-----|---------------------------------|
| 実施期間   | 2018年10～11月  | 対象者 | 約400世帯（≒参加人数）<br>※事業者にはヒアリングを実施 |
| 設置場所   | 1か所（「結の里」敷地内）  |     |                                 |
| 主な運営内容 | ・ 開放曜日：土、日を含む週6日（※木曜定休）<br>・ 開放時間：7:00-18:00               |     |                                 |
| 実施主体   | アマタ(株)、NECソリューションイノベータ(株)、<br>(合)MMR、(株)佐久、(有)山藤運輸、(株)山健重機 |     |                                 |
| 協力     | 宮城県南三陸町、南三陸町社会福祉協議会 他                                      |     |                                 |

# 「MEGURU STATION」

## 全ての住民が行うごみ出しという 日常行動が軸となる

### 資源循環の高度化



ごみはステーションへ持ち込まれ、  
細かく分別される

持ち込みが困難な住民へは  
収集運搬を実施

### 資源循環機能



資源ごみ

不燃ごみ

プラスチック類

紙くず・布くず等

草木類

廃食用油

貝殻・卵殻等

燃えるごみ

生ごみ

資源化

### 世代を超えた関係性の創出

住民交流の活性化を目指した取り組みを実施し、  
希薄化するコミュニティ問題に寄与する



### コミュニティ機能

### 住民の健康促進

住民の健康を促進させる取り組みを実施し、健康寿命の  
伸長を目指すとともに、社会福祉費の低下にも貢献する



- 受容性・賛同性 ⇒ 100%が継続希望
- 資源循環の状況
  - ・ 焼却ごみを6分別程度に分別することは可能
  - ・ 常時持込めることの利便性  
⇒ 住民による持込みが可能
- コミュニティ拠点としての有効性
  - ・ ごみ出しという日常の行動習慣  
⇒ コミュニティ活性化



## 資源循環機能×コミュニティ機能をもつ 地域課題の解決のためのインフラ



2019年

- ・ 回収したごみの資源化ルート開拓・技術開発
- ・ パートナー企業と連携し、社会福祉をはじめとした地域課題の解決に向けた仕組み構築

1

「AMITA Smart Eco」を中核にした  
「The Sustainable Stage」の提供拡大

2

シリコンスラリー廃液の  
100%リサイクルサービスの拡充

3

マレーシアにおけるセメント代替燃料の  
製造開始

4

「MEGURU STATION」の事業確立および  
パートナー企業との協業



## アマタ株式会社 取締役 末次 貴英

1981年生まれ。

アマタグループ合流後、自然産業領域の立ち上げに関わり、その後、京丹後循環資源製造所所長、西日本営業所所長等を経験。2017年以降は、企業向けの統合支援サービス「The Sustainable Stage」を世に広める責任者として、これまで培った事業開発・顧客開拓・製造現場運営・企業営業の経験を活かし、持続可能社会の実現に向けて取り組む。



# AMITA3.0

～サーキュラー・エコノミーの実現～

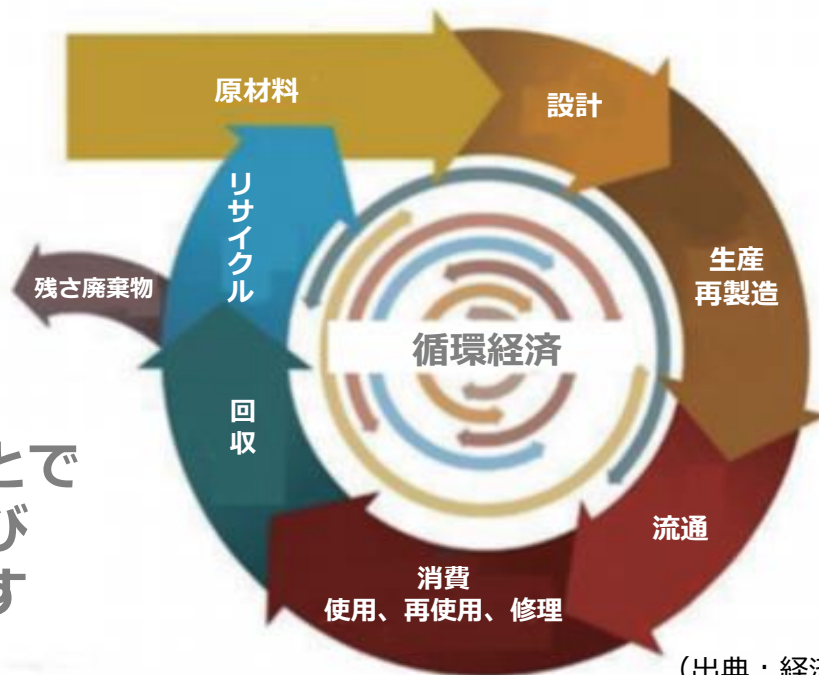
---

アマタホールディングス株式会社  
代表取締役 熊野 英介

## 「収縮する経済」から「濃縮する経済」を目指す！



資源を効果的に利用することで  
付加価値を創り、環境および  
経済の双方に利益を生み出す



(出典：経済産業省)

## 廃棄物に関する主要なEU目標



2030年までに加盟国各自治体の廃棄物の65%をリサイクルする。



2030年までに包装廃棄物の75%をリサイクルする。



2030年までにすべての種類の埋立て廃棄量を最大10%削減する。



**社会全体で  
資源循環の最適解を導くことがカギになる！**

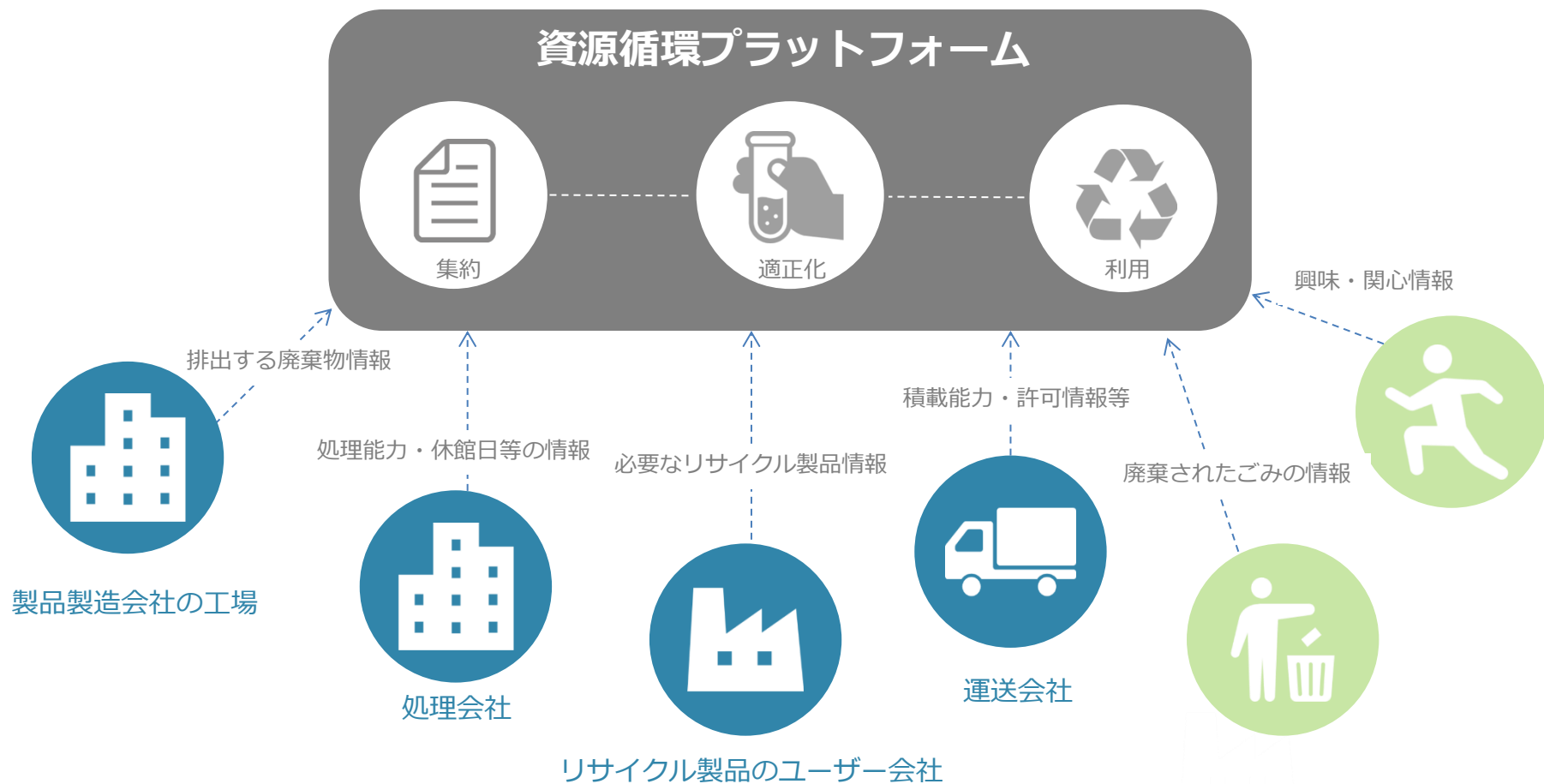


環境管理業務の適正化



地域の生活環境の適正化

# 資源循環プラットフォームの構想



資源の情報を集約し、加工することで  
資源循環の最適解を導く





# 「AMITA3.0」 始動に向けて！

ありがとうございました

**AMITA**

# アマタホールディングス株式会社

## IR担当窓口

TEL : 075-277-0795  
FAX : 075-255-4527  
E-mail : [ir@amita-net.co.jp](mailto:ir@amita-net.co.jp)

本資料は、弊社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は平成31年2月26日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、また約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

**AMITA**